



# 多文化共生に向けた取り組みへの再考 ～移民アソシエーションの問題意識

こはつ  
講師：小波津 ホセ氏 (NPO 法人日本ペルー共生協会 理事長)

2006 年に総務省が「多文化共生推進プラン」を公表して 15 年以上が経過した。2020 年には改訂もされ、同プランのおかげで文化的差異がある人も生活しやすい環境が地域で創設されるようになった。多文化共生プランの恩恵を受ける人は年々増加し、多様化している。その中で同国籍者の支援をする移民アソシエーションは必ずしもその恩恵を受けているとは言いきれない。移民アソシエーションは日本社会との関係性、人材確保、世代交代、出身国の文化・習慣・言語の継承などの問題に直面している。本講演では、このような移民アソシエーションの実態や日本社会との関係性などを通して、多文化共生に向けた取り組みを再考してみたい。

日時：2023 年 12 月 7 日 (木)  
16:30 ~ 18:00

会場：7号館2階クリスタルホール

司会：磯田 沙織 先生

(本学イベロアメリカ言語学科 講師)

※ 事前申し込み制

申し込みは左記 QR コードから▶



講師略歴

ペルー共和国生まれ、両親の出稼ぎ目的の来日に伴い 1992 年から日本での生活を開始する移民 2 世。2019 年度に宇都宮大学で国際学の博士号を取得。2020 年度 4 月より日本ペルー共生協会理事長に就任および獨協大学の非常勤講師を勤める。2016 年より生鮮果実の輸入に携わる米国資本の日本事務所に勤め、現在は営業部長職。共著に『越境するペルー人』下野新聞社、2015 年。『外国人生徒の学びの場』下野新聞社、2023 年。『ニューカマーの世代交代』明石書店、2023 年。



神田外語大学 グローバル・コミュニケーション研究所

〒261-0014 千葉県美浜区若葉 1-4-1 TEL/FAX: 043-273-2324 E-mail: gci@kanda.kuis.ac.jp